

令和8年7月号



近況報告

最近、身内で嬉しいことがありました。そのことを書こうと思います。

秩父に夫婦で移住してからも、妻はそれまで続けてきた仕事をするために、秩父と川崎の旧宅を行き来する生活を続けてきました。

私が集落支援員となり、秩父での生活も目処がついてきたので、そろそろ妻も秩父で仕事を探して夫婦で落ち着きたいと思っていたのですが、なんとなんと妻も大滝で働くご縁をいただくことになりました。

働き先のことは詳しく書きませんが、それはもう素晴らしいお仕事をされている処です。

働き始めは緊張して吐きそうだった妻も、最近少しずつ楽しげな様子が見られるようになってきました。

いろいろと大変かと思いますが、頑張って永く続けられたら好いなと思っています。



水無月の助さん

集落支援員となって、あっという間に3カ月が過ぎました。この短い期間でも、いろいろな事がありました。

その流れのおかげで協力隊の時から、あったら良いなできたら良いなと思っていたことが実現しようとしています。

それは大滝にお住いの幅広い年代が定期的集まって、大滝のあんなことやこんなことを話し合い学び、よしやってみようと思いが一致したら実際にやってみる。住民が主体となって大滝のことを考え行動し、試行錯誤するグループができることです。

大滝で協力隊を経験して思うことは、もしも大滝のことを考え行動する住民のグループがひとつでもふたつでもあったなら、協力隊の活動もかなり効率的で幅広いものになり、もっと有意義な活動ができたであろうということです。

そんな住民主体のグループが、いよいよ大滝にできるかもしれません。さあ、楽しみになってきました。

ご依頼・お問い合わせ：(火曜日～金曜日) 電話 55-0863

大滝総合支所 市民福祉課 集落支援員 後藤公輝(ごとう きみてる)までお電話ください。心からお待ちしています。